

令和2年12月24日

理事長メッセージ

新型コロナウイルス感染症のパンデミック（世界的流行）により、日本でもコロナ感染者が増加しまだまだ終息する気配すらありません。このような環境下、市協会の活動もかなり制限された状況です。高温多湿の夏と秋には感染が一時押さえられたため例会は開催しました。行事の度に、ドアや机、椅子、マイク等の消毒、手指消毒、窓やドアを開放しての換気の励行、三密を避けソーシャルディスタンスを保つなどあらゆる感染予防策を実施してきました。気温が下がり空気が乾燥するウィルスに有利な冬になって予想通り、急激な感染増加の第3波が起きました。大阪府独自の「大阪モデル」により、通天閣や万博公園の太陽の塔が非常事態の「赤信号」を灯したため、例会も12月は中止にしました。加えて事務所での各サークル活動や要約筆記者の打ち合わせ、勉強会等も中止せざるをえない状況です。

このようなコロナ禍に対処するため、人と人が直接接触することのない Zoom や LINE による会議、オンラインミーティングが日常的になってきました。新しい時代の在り方だといえるでしょう。

当協会でも Zoom によるミーティングの拡充に取り組んでいます。初期はチャット機能の使用でしたが、現在では要約筆記者が対応するソフト（captiOnline；キャプションライン）の導入で、参加者の画像と発言した字幕が同時にパソコン、スマホ上に表示されるようになりました。パソコンやスマホをお持ちの皆さま、奮って参加いただき互いにつながりましょう、お待ちしております。

令和3年には新型コロナウイルスワクチンの接種も開始される予定ですが、まだまだ油断することなく日常の感染防止への意識を高め、実践していきましょう。